

オンライン  
参加 or 配信あり

## ジェンダー論講座

# 『ジェンダーとわたしと』

— 今、見えなくされている社会の話 —



イラスト：uca U

私たちの社会にはジェンダー不平等を始め、あらゆる差別があります。それらは日常にひそみ、生きづらさは広がります。私たちが当たり前と感じている物事の在り方を疑い、社会的に作られ押し付けられる優劣を可視化させる“ジェンダー的視座”をもって、見えなくされている社会の格差を考える『ジェンダー論講座』を開催します。

自己責任論に追い詰められ、分断が進む今を少しでも変えるために、学びと対話を深めましょう。フェミニズムを軸として、政治・経済・文化を日常の問題から考える連続講座にぜひご参加ください。

日程 **全3回**

2026 **1.24** > **2.21** > **3.28**  
SAT SAT SAT

時間 **14:00~16:30**

場所 **ウイングス京都**

オンライン配信あり

定員 **先着順** 会場25名

オンライン定員なし

お申込みはこちら ▶  
Peatixのページにジャンプします



“ジェンダーとわたし”とは？

ジェンダーやフェミニズムを“わたしごと”として捉え、学び、考えるための講義シリーズです。第一線で活躍する専門家のレクチャーと対話から理解を深めます。

各回 14:00~16:30 (会場・オンライン)

1 1.24 SAT 講師 鳥山純子

2 2.21 SAT 講師 田中東子

3 3.28 SAT 講師 村上潔

## ジェンダー的視座を学ぶ

—今ある、その格差を読み解く—

ジェンダー論は社会の当たり前を疑う「視座」を与えてくれます。社会を性別で二分しようとする思考的特性やそれを許容する社会的状況—経済的・政治的・文化的・物質的環境—や認識論的傾向の限界を学び、社会課題をゼロベースで検討することにより、根源的な問題の所在を捉えます。日常にある現象をジェンダー的視座を通じて考察し、個人の生きづらさの理由をその人物に探るのではなく、人物が置かれた社会的状況から探ります。見えづらく、でも確かに日常にある格差について検討します。

## ポストフェミニズムを探求する

—分断とレジリエンスの政治—

複雑に社会や文化を覆っているネオリベラリズム（新自由主義）により、あらゆる分断が進み、“レジリエンス”という概念さえポストフェミニズム的な完璧主義の補完に利用される状況と、これらが常識として定着していくプロセスについてアンジェラ・マクロビーの研究から考察します。今一度、“ポストフェミニズム”の持つ意味の広がり、インターセクショナルな視点から抜け落ちて複合的に排除される女性たちの現状を学び、真の平等とフェミニズムの問いかけについて考えます。

## 葛藤を抱えつつ、つながりをつくる

—都市空間におけるフェミニズムとDIYの可能性—

マイノリティが自分を生きるための思想と連帯は、静かに確かに紡がれてきました。そのツールであるジンカルチャーは、時代や地域を越え、自律性と多様性を保ち、絶えず親密的なつながりを構築しています。しかし同時にジンを共同で作る・読み・共有する場や記録する空間は、不均衡な都市再開発の影響を被る危機に晒されています。そうした状況の中で、誰もが抱える迷い・葛藤を受容しつつ、創造的なコミュニティを形成していく、包摂的な実践の可能性について学び合います。

## 講師プロフィール

## 鳥山純子 (とりやま・じゅんこ)

立命館大学国際関係学部教授。文化人類学、ジェンダー論専攻。エジプトの大家族で暮らしたのち、中東地域に生きる人々の「幸せと痛み」を日常生活の地平で研究する。イスラム教とフェミニズムの関わりを研究対象とする「イスラム・ジェンダー学」で研究を進める。近年では「女性」を対象とした事象に加え、モロッコのマザコンにも研究対象を広げている。著作に『「私らしさ」の民族誌—現代エジプトの女性、格差、欲望』（単著、2022年、春風社）、『フィールド経験からの語り』（編著、2021年、明石書店）など。

## 田中東子 (たなか・とうこ)

東京大学大学院情報学環 教授。専門分野はメディア文化論、ジェンダー研究、カルチュラル・スタディーズ。第三波以降のフェミニズムやポピュラー・フェミニズムの観点から、メディア文化における女性たちの実践について調査と研究を進めている。主な著作・翻訳に『メディア文化とジェンダーの政治学—第三波フェミニズムの視点から』（単著、世界思想社、2012年）、アンジェラ・マクロビー『フェミニズムとレジリエンスの政治 ジェンダー、メディア、そして福祉の終焉』（共訳、青土社、2022年）など。

## 村上潔 (むらかみ・きよし)

立命館大学生存学研究所客員研究員。専門分野は現代女性思想・運動史。1970年代以降のソーシャリストフェミニズム、アナークフェミニズム、エコフェミニズム、ならびにフェミニストジン、女性主体の反ジェントリフィケーション運動を主な研究対象とする。著書に『主婦と労働のもつれ—その争点と運動』（単著、洛北出版、2012年）など。論文に「ジン・カルチャーの現代的展開とその意義—フェミニスト・コミュニティ・アクティヴィズムの視点からの展望」（単著、『立命館言語文化研究』33巻3号、2022年）など。

受講料  
(全3回分)

会場参加チケット (一般)	5,700円	講義+ワーク&交流
U25会場参加チケット (25歳以下)	5,200円	
オンライン(リアルタイム参加)チケット	5,500円	講義部分のみ (録画)
オンライン(録画視聴)チケット	5,200円	

※3回の講座で学びが深まるようプログラムを組んでいます。単発の販売はございませんのでご了承ください。

※会場参加の方にも、録画動画(講義部分のみ)をご提供いたします。

※Peatix以外のお申し込み・決済方法をご希望の方はお問い合わせください。

## 館内保育あります

有料・要申込  
(各回2週間前締切)  
詳細はチケット  
購入ページへ



▲ チケット購入

## 主催・お問い合わせ

## (公財)京都市男女共同参画推進協会 事業企画課

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262

京都市男女共同参画センター ウィングス京都

【開館時間】※水曜・年末年始休館 平日9:00~21:00/日祝9:00~17:00

公式HP▶

Face book  
@wingskyotoX (旧Twitter)  
@wings\_kyoto

SNSでも情報発信中!

(075) 212-8013

✉ jigy@wings-kyoto.jp

●ウィングス京都へのアクセス●

市営地下鉄「四条駅」・阪急「烏丸駅」20番出口 市営地下鉄「烏丸御池駅」5番出口から徒歩各5分  
※一般来館用の駐車場はありませんのでバス、電車など公共の交通機関をご利用ください。

※個人情報の取り扱いについて：申込者の住所・氏名・連絡先などの個人情報は申込みいただいた講座・催しに関する事務連絡および各種事業のご案内などに使用し、他の目的には一切使用いたしません。